

令和3年度 通学路の危険箇所一覧表

番号	学校名	路線名	危険・要注意箇所	状況・危険の内容	対応方法等
1	城内小	市道	城内小学校校門前道路	グリーンベルトが消えかかっているため、通行車両が外側線をはみ出して走行し、歩行者と接触する危険がある。	建設：歩道の延長上となる道路西側からグリーンベルト更新を行う。他の薄くなっている箇所については、舗装工事の際に随時行う。
2	矢留小	県道高田柳川線	柳川市矢留本町21番地(学校前)	車道と路側帯の境目の黄色着色部の色剥がれ。交通量が多く、右左折車両が路側帯に入り込んでくる危険あり。	県：交差点南北の角をオレンジで着色施工。
3	昭一小	市道	柳川市久々原287-1付近～昭代図書館付近	歩道が車道よりも低い位置にあり、天候次第で堀の水が度々浸水する。それを繰り返した結果、歩道が泥で常に汚れており、歩行者は車道を歩いている状況で、歩道として機能していない。また、車の通行の妨げにもなっており危険。	建設：車両などからの視認性を確保するため、除草等を行う。 水路管理者：除草及び大雨時のバリケード設置をするよう水路管理者に依頼する。
4	昭一小	市道	同上	歩道と車道が植樹で隔てられ、歩道の位置が低いこともあり死角になっているため危険。	同上
5	皿垣小		政屋地区から二十五丁地区にかけての道路(約2km)	長い直線道路のためスピードを出す車両が多い。雨量が多い時は、路側帯が浸水する箇所もあり、水溜まりをよけて歩行する児童が車両と接触する危険性がある。	学校での交通安全教育を継続。 建設：区画線を設置する際に、路側帯を広く確保することを検討する。
6	有明小		有明小学校南門から西へ300m柳川市大和町皿垣開600付近	児童の登下校時の車との接触等	県：北側からグリーンベルトを敷設。(直近のカーブミラーまで)その後、南側の路側帯にも敷設する。
7	有明小		有明小学校南門前(柳川市大和町皿垣開600)	「止まれ」の文字が消えている。	県：分岐表示・巻きこみ線・破線二重を敷設。 建設：「止まれ」⇒「交差点注意」に変更
8	中島小		柳川市大和町中島	この付近の道路は白線が消えており、車道と歩道の境界が分からないため、車との接触を避けるため田んぼへ落下する危険がある。	建設：外側線敷設。カーブには赤ポールを設置。
9	中島小		柳川市大和町中島	白線が消えているため、車道と歩道の境界が分からない。校門前の塗装も薄くなっており、運転者の認識が不十分	建設：舗装更新及び外側線敷設。 警察：「止まれ」表示敷設。
11	大和小		柳川市大和町栄640付近	学校付近のたくさんの児童が通学する道路だが、白線が消えている部分があり危険。	建設：交差点～交差点で南北共に外側線敷設後、グリーンベルト敷設。
12	大和小		柳川市大和町明野1346-3に続く道路	広い道路だが、路側帯の白線がないので車が離合する際、歩行者と接触する危険性がある。	建設：複数年に分けて外側線敷設。
13	大和小		柳川市大和町栄496付近	横断歩道はあるものの信号はない。東進の車両は栄の信号に目がいき、横断歩道に気づかないことが多い。下校時、北側から出てくる児童は家屋等で死角になるため、当該横断歩道は使用しないようにしている。	警察：横断歩道の設置には条件があり、現場はそれに当てはまらないため、横断歩道の移設は現状のままでは難しい。 建設：当面は、路面標示で対応。(～注意、など)

令和3年度 通学路の危険箇所一覧表

番号	学校名	路線名	危険・要注意箇所	状況・危険の内容	対応方法等
14	豊原小		大和町栄 武末鉄工所付近	用水路の防護柵根元が腐食している。	総務: 錆が酷い箇所から優先的に修繕。
15	豊原小	豊原矢留本町線	豊原西交差点～塩塚交差点	車の通行量が多く、歩道が無いため、通学の際危険。	建設: 今後、護岸工事が予定されているため、その進捗に合わせて外側線・グリーンベルトを敷設。
16	豊原小	県道高田柳川線	国道208号塩塚交差点～西鉄塩塚駅	道路幅が狭く歩道がない。現在は迂回して登下校している。	県: 内部で協議。
17	藤吉小		柳川市三橋町高畑263-1 すぎ病院南側の二ツ河橋	路側帯が狭いため車と接触する危険性がある。	建設: 橋梁の維持管理については、架け替えよりも長寿命化といった現況を活かす工法により行っているため、拡幅などは難しい。グリーンベルトの延長等で対応する。
18	藤吉小	市道	市道 下百町柳河線 摘手橋	橋梁には歩道もなく、幅員が狭小であり、自動車の交通量も非常に多いため、登下校時に接触等の交通事故の発生が危惧される。	建設: 行政区長からの要望もあるので、対応を検討中。横断歩道の設置についても要検討。
19	二ツ河小		柳川市三橋町吉開673番地(高口精密工業前)	降雨の際、路肩に大きな水溜まりができ、交通事故リスクが高まる。	建設: 舗装工事の際に勾配を付け替えるか、今後検討する。
20	三橋中	国道443号	三橋中前交差点	通学する生徒と通行中の車が接触する可能性が高い。	県: ドット線・巻きこみ線・停止線更新 警察: 横断歩道の設置は諸条件に合わないため難しい。むしろ、現状は歩道を撤去しなければならぬ状況。学校での交通安全教育を充実することで対応されたい。
21	三橋中	国道443号	三橋庁舎前交差点	通学する生徒と通行中の車が接触する可能性が高い。	警察: 自転車は軽車両に当たるので、横断歩道でなくとも横断可。しかし、通学路が別にあるので、そこを通行したほうが良い。